



全道大会に出場する上士幌中学校卓球部(写真左)とソフトテニス部(同右)の生徒12人が教育委員会を訪れ、馬場教育長に大会での健闘を誓いました。

卓球部は4月30日(土)～5月1日(日)の第11回道央中学卓球選手権大会(恵庭市)、ソフトテニス部は第4回ゴーセン杯争奪北海道中学生ソフトテニス大会(札幌市)にそれぞれ出場しました。

※卓球部は、男子個人戦で大野隆貴さんと松岡紫苑さんがそれぞれ5回戦まで進出したほか、男子団体戦では3位に入賞し健闘を見せました。また、ソフトテニス部は、齊藤琴美さん・坂本鮎美さんペア、遠藤梨加さん・名波星来美さんペアともに予選リーグを1位通過しましたが、続く決勝トーナメント1回戦で惜しくも敗退となりました。

5/9 上小6年竹内さん、トランポリン全道大会出場



第32回北海道ジュニアトランポリン競技選手権大会(5月14日(土)～15日(日)、北見市)に出場する上士幌小学校6年の竹内愛詩さんが教育委員会を訪れ、馬場教育長に大会での活躍を誓いました。

竹内さんは「今回の全道大会は10位以内で決勝に進出できる。これまで指導してもらったことを守って決勝に残り、3位以内に入れるよう挑みたい」と意気込みを語りました。

※大会で竹内さんは個人・小学生高学年の部に出場。出場選手34人中7位に入賞し、見事に全国大会への出場を決めました。

5/11 「声の広報」ボランティア20年、音更町の佐々木暁子さんへ感謝状

視覚障がいのある方への情報提供として、長年、広報誌を音読しカセットテープへ録音するボランティアをしていた佐々木暁子さん(音更町在住)へ感謝状が贈られました。

佐々木さんは、ボランティア団体「お話会カッコウ」のメンバーとして、平成7年から20年間に渡り「声の広報」の吹き込みを行い、今年の3月末をもって勇退されました。

佐々木さんは「ボランティアというより、もともと私が好きでやり始めたことだけれど、毎月待っていてくれる人がいなければここまで続けることはできなかったと思う」と語り、テープを聴き続けてくれる人がいたことが励みになったと話してくれました。

なお、4月からは、後任として町内在住の野中美尾さんが「声の広報」のボランティアをしてくださっています。



▲佐々木さんのご自宅にて、役場企画財政課長・松岡秀行より感謝状が手渡されました

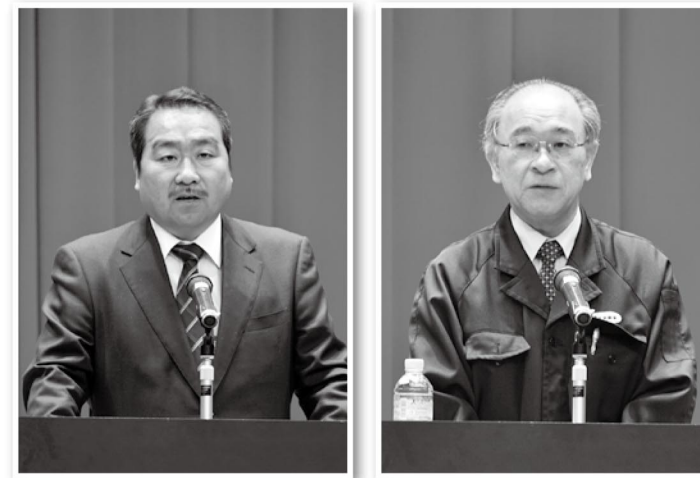


町内のスケートリンクの氷割り作業を行った川村組(川村文雄社長)と田西建設(田西長徳社長)に、教育委員会から感謝状が贈られました。

川村組はスポーツセンターの町民スケートリンク、田西建設は上士幌小学校のリンクの氷割りを行い、馬場教育長が「子どもたちのために毎年ボランティアで行っていただき、大変ありがたい」と感謝の言葉を述べました。

両社は「子どもたちが早くグラウンドでスポーツができるように今後も続けていきたい」と話しました。

4/22 林業労働災害防止・交通安全大会



第34回林業労働災害防止・交通安全大会が山村開発センターで開かれ、林業関係者約60人が出席しました。

大会では、主催者である町林業振興対策協議会の中田博文会長(写真左)が「事故のない明るい職場環境づくりに努め、労働安全対策と交通安全を徹底してほしい」とあいさつし、竹中町長ら来賓が祝辞を述べました。

また、帯広労働基準監督署の高倉署長(同右)、上士幌駐在所の松本所長が、それぞれ労働災害防止の注意点と交通安全への取り組み方について講演しました。

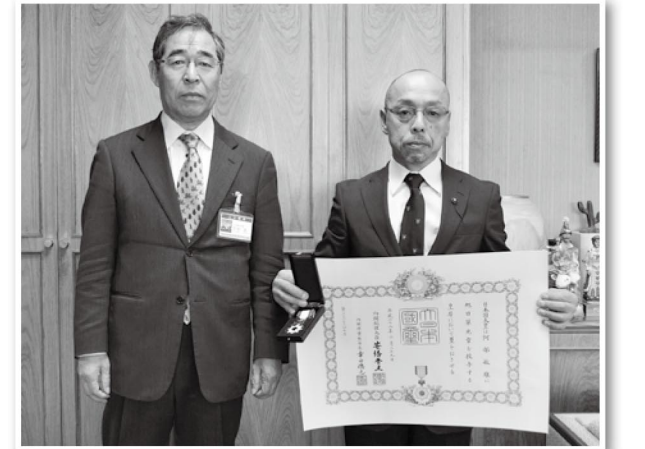
最後に、出席者全員で今年度の安全スローガンを確認して閉会しました。

4/26 故・阿部敏雄さん叙勲伝達式

元選挙管理委員で、今年2月に死去した故・阿部敏雄さんへの叙勲(旭日単光章)伝達式が、役場で行われました。

阿部さんは選挙管理委員を24年間務め、本町の選挙事務運営に多大な貢献をされました。

この日は、長男の修さんが役場を訪れ、竹中町長から勲記と勲章が授与されました。修さんは「いただいた勲章は父の仏前に報告したいと思う。父としては、もう少し長生きをして直接勲章を受け取りたかったと思うが、きっと受章を喜んでくれるはず」と話していました。



4・5月の
まちのわだい



「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
企画財政課情報交流担当 ☎2-4290 または E-Mail ☉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

町民(文)芸

川柳

日々新たしつとり果敢私の流儀
 夢乗せて桜咲く町新幹線
 おかあさんの作るアイスがボクは好き
 熱気球に負けじと白鳥群れで飛び
 花々が風に吹かれる初夏の園
 終活をしても捨てられぬ我が子の絵
 いい人をやめてストレス解き放ち

短歌

去年植へしスノードロップのひそやかに咲きしを見つつ庭の土踏む
 我が思ひ描きし庭の設計図夫の手により乱れてゆくも
 新聞の切りぬき整理思いつつ読みてなつかし捨てがたくなり
 草中に水仙の花咲く見えて今朝は仏に供へて清し
 軽やかに転がる音にて春さむの雷がひびけり午後を二度ほど
 明けがたを妻の呼べる声きこへ猫がひそかに近づきたるらし

尾 坂 高 鈴 米 桜 白
 野 田 木 森 石
 子 也 豊 弓 繪 馨
 乃 子 子 子 子 子 子

石 川 裕 子
 高 木 慶 子
 本 間 風



○三国峠のカフェやナイタイ高原レストハウスが今季の営業を開始し、上土幌町にも本格的な観光シーズンがやってきました。GW中は町外へ旅行や買い物等に行かれた方も多いと思いますが、たまには地元の観光スポットを巡ってみたいかがでしょうか。上土幌町の自然の魅力を再発見できるかもしれませんよ。…S
 ○今は亡き某メーカー創設者の言葉に、「技術は人の役に立つものでなければならぬ」、また「やってみせんで」と。できない言い訳を考える前に動いて、失敗を恐れるより何もしないことを恐れるべき。人の幸せのために働き、チャレンジすることを忘れない。…はい。これから、もっと精進していきます。…K

広報 **がみしほろ** 7月号は 6月24日(金) 発行予定

平成28年 4月末現在の人口
男性 2,392人(+6人)
女性 2,521人(-3人)
人口 4,913人(+3人)
世帯数 2,432世帯(+11世帯)

寄付

- ▶4月20日、町内1区の松岡秀行さんが、福祉の振興のため(故・松岡孝さんが生前お世話になったお礼として)、10万円を寄付されました。
- ▶4月26日、萩ヶ岡の阿部修さんが、町の振興のため(故・阿部敏雄さんが生前お世話になったお礼として)、10万円を寄付されました。
- ▶4月28日、札幌市の浅野幸彦さんが、町の振興のため(故・浅野松子さんが生前お世話になったお礼として)、3万円を寄付されました。

平成28年度 ふるさと納税寄付金
4月分 3,323件 57,106,345円
累計 3,323件 57,106,345円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

- 上土幌町民憲章
- 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
 - おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
 - きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
 - 自然を愛し、美しく住みよいまちをそだてましょう。
 - 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

地域を変えてく新しいカ 地域おこし協力隊活動報告

TITLE:第2のふるさとを上土幌町に! 記:地域ブランドデザイン推進員 森本 奈那



今年度より、地域おこし協力隊「地域ブランドデザイン推進員」に着任いたしました森本奈那と申します。上土幌町へは観光で度々訪れていたため、上土幌町の発展に携わるお仕事に就くことができ、とても誇らしく思います。

ここ数年、上土幌町の熱心な取り組みに加え、数々のメディアで町が取り上げられた影響もあり、上土幌町の知名度がどんどん上がっています。この機会を逃さないよう「上土幌町をまだ知らない全国の方々にいかに興味・関心を持ってもらえるか?」を個人的なモットーに、毎日さまざまな試行錯誤をして業務に取り組んでいます。

最近では、マスコミへの対応で上土幌町の紹介をしたり、ふるさと納税返礼品カタログの作成をしたりしています。一目見て手に取りたいと思ってもらえるような、また、上土幌町の特産物を思いっきりアピールできるようなパンフレットを作成しようとデザインを考えました。5月上旬に出来上がりしましたので、ぜひ町民の皆さんにも手に取ってご覧になっていただきたいです。

これからイベントもたくさんありますので、来場者の方々にどんどんまちの魅力を伝えて、第2のふるさとにしたいと心から思ってもらえるように一生懸命頑張っていきたいです!



▲tobachiにて雑誌「Chai」の撮影



▲2016年度の感謝特典カタログ

上土幌高校新聞局 通信 月刊 上高



今年度、上土幌高校へ着任した方々は、①山崎恒平校長先生・②白戸貴大先生・③長屋睦先生(産休から復帰)・④堀達郎先生の4人です。

山崎校長の出身地は奈良県橿原市で、出身校は大阪清風高校、英語を担当しており、趣味は音楽鑑賞でロックや歌謡曲・演歌・クラシックなど何でも聞くそうです。

白戸先生は札幌市の出身で、高校は札幌旭丘高校、担当教科は数学です。ソフトテニス部を担当し、趣味はサイ

クリングで釧路にいたころは北見まで行ったこともあるそうです。

次に、長屋先生は新潟県新潟市出身で、高校は敬和学園、担当教科は英語です。趣味は家庭菜園で作ったものを料理したり、BBQをして家族と食べるのだそうです。

最後に堀先生は、山口県下関市出身で高校は下関工業高等学校、担当教科は地理・倫理・日本史です。部活動は卓球部を担当しています。趣味は音楽鑑賞で、特に「B'z」は20年来のファンだそうです。

新しい先生をご紹介します

文責 坪井 稔樹

Monthly Kamishihoro High-School